

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(有)エムテック新工場	階数	地上3F
建設地	愛知県名古屋市中砂町454、455、456-1、456-2、456-3、456-4、457-1457-2、457-3、457-4、457-5、457-6	構造	S造
用途地域	都市計画区域内、市街化区域、準防火地域	平均居住人員	0 人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2021年12月 予定	評価の実施日	2021年6月15日
敷地面積	1,404 m ²	作成者	
建築面積	978 m ²	確認日	2021年6月15日
延床面積	2,729 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
= BEE0.6 ★:S:★★★★★ A:★★★★ B+:★★★ B-:★★ C:★ 環境品質 Q 環境負荷 L	★☆☆ 100%超:☆☆☆ 100%:☆☆☆ 80%:☆☆☆☆ 60%:30% 標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ (kg-CO₂/年・m²) このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1のスコア= 0.0	Q2のスコア= 3.0	Q3のスコア= 1.1
音環境	機能性	生物環境
温熱環境	耐用性	まちなみ
光・視環境	対応性	地域性・
空気質環境		
LR 環境負荷低減性		
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア= 4.2	LR2のスコア= 2.8	LR3のスコア=3.1
建物外皮の	水資源	地球温暖化
自然エネ	非再生材料の	地域環境
設備システ	汚染物質	周辺環境
効率的		

3 設計上の配慮事項		
総合	地球温暖化対策が行われていて地球にやさしく、利用者が生活しやすい建物である。	
その他	特になし	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
評価しない	耐用年数の長い部材を使用し、寿命の長期化を図っている。 階高にゆとりを持たせ、快適さを得られるようになっている。	屋上緑化を行い、暑熱環境を緩和している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BEIm: 0.38で、建築物が運用時に消費するエネルギーの削減率が高いと言える。	発泡剤を用いた断熱材を使用していない。	ライフサイクルCO ₂ の排出量が一般的な建物に対して71%であり、地球温暖化対策への取り組みを行っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

(有) エムテック新工場

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2

■評価ソフト:

CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				4.0
LR1	エネルギー	4.3	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	4.1	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.05	
2. 自然共生				1.3
Q3.1	生物環境の保全と創出	1.0	0.171428571	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.017142857	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.085714286	
3. 循環型社会				2.6
LR2.1	水資源保護	3.0	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	2.4	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.3	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 4.0



2. 自然共生

評価点 = 1.3



3. 循環型社会

評価点 = 2.6



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。